



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月3日

上場会社名 伊藤ハム米久ホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 2296 URL <https://www.itoham-yonekyu-holdings.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 功

問合せ先責任者 (役職名) 広報IR室長 (氏名) 加藤 勝

TEL 03-5723-6889

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	227,558	7.2	5,311	25.3	5,600	27.2	3,357	34.5
2023年3月期第1四半期	212,325	4.8	7,114	5.8	7,698	8.6	5,129	13.2

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 5,592百万円 (32.3%) 2023年3月期第1四半期 8,265百万円 (26.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	11.79	11.79
2023年3月期第1四半期	17.60	17.59

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	464,199	267,986	57.6
2023年3月期	436,763	269,261	61.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 267,347百万円 2023年3月期 268,608百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		24.00	24.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		0.00		25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年10月1日を効力発生日として、株式併合(普通株式5株を1株に併合)を実施する予定です。上記の2024年3月期(予想)期末配当については、当該株式併合を考慮しない金額を記載しています。当該株式併合を考慮した場合は125円00銭となります。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	455,000	1.6	9,200	39.2	10,000	38.1	6,500	40.4	22.83
通期	930,000	0.8	23,000	0.0	25,000	4.0	15,000	11.6	52.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2023年10月1日を効力発生日として、株式併合(普通株式5株を1株に併合)を実施する予定です。上記の通期の1株当たり当期純利益については、当該株式併合を考慮しない金額を記載しています。当該株式併合を考慮した場合は263円41銭となります。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	287,355,059 株	2023年3月期	287,355,059 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	2,632,939 株	2023年3月期	2,632,763 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	284,722,187 株	2023年3月期1Q	291,513,184 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算発表後、四半期決算説明資料をTDnetに開示し、当社ホームページにも掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

○国内経済の状況

新型コロナウイルス感染症の5類移行による社会経済活動の正常化に伴い、消費に一部持ち直しの動きが見られ、景気は緩やかな回復基調となりました。その一方で、不安定な国際情勢を背景とした資源価格の高騰や金融・為替市場の動向が国内経済や物価に影響を及ぼす状況が続いています。

○当業界の状況（食肉加工業）

原材料価格や光熱費の上昇に加え、包材費や物流費の高止まりが続く中、円安の影響も重なり、厳しい経営環境が続きました。また、消費行動の変化やデジタル化の加速、サステナビリティに対する関心の高まりなど、急速に変化し多様化する消費者ニーズや価値観への対応が引き続き求められています。

○当社の経営成績と概況

◇連結経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
227,558	7.2	5,311	△25.3	5,600	△27.2	3,357	△34.5

「中期経営計画2023」で掲げる4つの重点取り組み方針と財務戦略に基づき、以下の施策を実施しています。

重点取り組み方針	主な施策
経営基盤の強化	戦略単位での組織再編の実行、デジタル戦略の推進
収益基盤の強化	生産及び物流拠点再編の推進、和牛輸出の強化
新規事業・市場への 取り組み	冷凍食品の強化、ノンミート商品の定着、ヘルスケア事業の強化
サステナビリティへの 取り組み	マテリアリティ（重要課題）の特定とKPI（目標）の設定、及びその達成に向けた取り組みの推進

財務戦略では、投下資本利益率（ROIC）の向上を目指すことに加え、財務健全性と資本効率性を勘案した株主還元策によって株主価値の最大化を図るため、配当性向40%を目途に安定的に増配することを掲げています。また、自己株式の取得については、当年度は20億円の取得枠設定を行っています。

◇報告セグメント別の経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益	
	百万円	%	百万円	%
加工食品事業	93,852	5.6	1,598	△38.3
食肉事業	133,702	8.3	4,332	△20.7

<加工食品事業>

- ・ハム・ソーセージは、テレビコマーシャルの投入や消費者キャンペーンの実施により、「The GRAND アルトバイエルン」「朝のフレッシュシリーズ」「御殿場高原あらびきポーク」等、家庭用主力商品の拡販に努めたことに加え、ローストビーフをはじめとする業務用商品の販売が伸長したことから、売上高は増加しました。
- ・調理加工食品は、「ラ・ピッツァ」「ピザガーデン」などのピザ類や「お肉屋さんの惣菜シリーズ」、大豆ミートを使用した「まるでお肉！シリーズ」等、消費者ニーズの多様化に対応した商品の拡販に努めたことに加え、外食向け業務用商品の販売が伸長したことから、売上高は増加しました。
- ・加工食品事業全体の売上高は増加しましたが、経常利益は、原材料価格や光熱費等の上昇によるコスト増加を商品価格改定でカバーしきれず減益となりました。

<食肉事業>

- ・国内事業は、社会経済活動の正常化に伴う外食向け販売の伸長や、鶏肉の販売単価の上昇等により、売上高は増加しました。利益は、配合飼料価格や物流コストの高止まりの影響を受けたものの、製販連動した収益管理を徹底した結果、増益となりました。
- ・海外事業は、前年の世界的な牛肉需要の高まりが一段落したことにより、アンズコフーズ社における牛肉の販売数量が減少し、減益となりました。
- ・食肉事業全体の売上高は増加しましたが、経常利益は海外事業の減益の影響を受けて減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

- ・総資産は、前連結会計年度末に比べて27,436百万円増加し、464,199百万円となりました。
増加要因：棚卸資産、売掛金、固定資産の増加
- ・負債は、前連結会計年度末に比べて28,711百万円増加し、196,213百万円となりました。
増加要因：買掛金、短期借入金の増加
- ・純資産は、前連結会計年度末に比べて1,275百万円減少し、267,986百万円となりました。
減少要因：配当金の支払に伴う利益剰余金の減少

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想については、2023年5月9日に公表した業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,736	23,974
受取手形及び売掛金	95,323	98,280
商品及び製品	97,801	110,028
仕掛品	2,020	2,060
原材料及び貯蔵品	22,920	29,113
その他	15,681	17,987
貸倒引当金	△20	△5
流動資産合計	256,463	281,440
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	36,935	37,446
機械装置及び運搬具（純額）	29,091	28,772
工具、器具及び備品（純額）	1,454	1,464
土地	26,368	26,410
リース資産（純額）	2,797	2,684
その他（純額）	4,825	5,417
有形固定資産合計	101,472	102,196
無形固定資産		
のれん	18,286	17,884
その他	8,555	8,976
無形固定資産合計	26,842	26,861
投資その他の資産		
投資有価証券	30,302	31,654
退職給付に係る資産	15,307	15,639
その他	6,462	6,576
貸倒引当金	△88	△169
投資その他の資産合計	51,984	53,701
固定資産合計	180,299	182,759
資産合計	436,763	464,199

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	66,978	81,235
電子記録債務	1,991	1,748
短期借入金	32,062	43,266
1年内返済予定の長期借入金	10,126	10,125
未払法人税等	5,024	517
賞与引当金	6,163	1,740
役員賞与引当金	161	40
災害損失引当金	329	-
その他	30,103	41,256
流動負債合計	152,941	179,930
固定負債		
長期借入金	446	415
退職給付に係る負債	1,653	1,674
資産除去債務	1,469	1,471
その他	10,991	12,720
固定負債合計	14,560	16,282
負債合計	167,501	196,213
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,003	30,003
資本剰余金	89,427	89,427
利益剰余金	140,066	136,590
自己株式	△1,841	△1,841
株主資本合計	257,655	254,179
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,708	7,596
繰延ヘッジ損益	△828	△306
為替換算調整勘定	2,237	3,110
退職給付に係る調整累計額	2,835	2,767
その他の包括利益累計額合計	10,952	13,167
新株予約権	77	77
非支配株主持分	576	562
純資産合計	269,261	267,986
負債純資産合計	436,763	464,199

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	212,325	227,558
売上原価	179,615	195,353
売上総利益	32,710	32,204
販売費及び一般管理費	25,596	26,892
営業利益	7,114	5,311
営業外収益		
受取利息	13	54
受取配当金	132	145
受取賃貸料	116	114
助成金収入	276	170
その他	293	451
営業外収益合計	832	936
営業外費用		
支払利息	107	324
不動産賃貸費用	38	34
持分法による投資損失	54	279
その他	48	9
営業外費用合計	248	647
経常利益	7,698	5,600
特別利益		
固定資産売却益	3	1
投資有価証券売却益	0	1
特別利益合計	3	2
特別損失		
固定資産除却損	58	23
災害による損失	-	248
その他	-	4
特別損失合計	58	277
税金等調整前四半期純利益	7,643	5,326
法人税、住民税及び事業税	1,224	639
法人税等調整額	1,278	1,319
法人税等合計	2,503	1,959
四半期純利益	5,140	3,366
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,129	3,357

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	5,140	3,366
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△772	879
繰延ヘッジ損益	557	521
為替換算調整勘定	2,281	39
退職給付に係る調整額	△91	△99
持分法適用会社に対する持分相当額	1,149	884
その他の包括利益合計	3,124	2,225
四半期包括利益	8,265	5,592
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,226	5,572
非支配株主に係る四半期包括利益	39	19

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	加工食品 事業	食肉 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	88,895	123,427	212,322	3	212,325	-	212,325
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,828	19,696	26,525	201	26,727	△ 26,727	-
計	95,724	143,123	238,847	205	239,052	△ 26,727	212,325
セグメント利益	2,591	5,460	8,052	6	8,058	△ 360	7,698

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人事給与関連業務サービス等です。

2. セグメント利益の調整額の主な内容は、のれんの償却額△347百万円等です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	加工食品 事業	食肉 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	93,852	133,702	227,554	3	227,558	-	227,558
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,556	16,802	26,359	221	26,580	△26,580	-
計	103,409	150,504	253,913	224	254,138	△26,580	227,558
セグメント利益又は 損失(△)	1,598	4,332	5,930	△3	5,927	△326	5,600

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人事給与関連業務サービス等です。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額の主な内容は、のれんの償却額△347百万円等です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、当社グループの組織再編に伴い、「その他」の区分に含まれていた物流事業を、加工食品事業及び食肉事業それぞれのセグメントに含めて表示することに変更しています。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しています。